

(様式 1 - 3)

潮来市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 1 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	6	事業名	潮来市液状化ハザードマップ作成事業		事業番号	◆D-19-2-1
交付団体		潮来市	事業実施主体 (直接/間接)		潮来市	
総交付対象事業費		4,806 (千円)	全体事業費		4,806 (千円)	
事業概要						
〈事業概要〉 潮来市の液状化対策事業により実施した地盤、および、液状化に関する検討の結果を活用し、宅地の地権者等に適切な液状化対策の実施を啓蒙するため、液状化被害発生の可能性を明示した液状化ハザードマップを作成する。						
当面の事業概要						
〈平成 27 年度〉 液状化ハザードマップ作成 0= 4.806 百万円						
東日本大震災の被害との関係						
本市は「水郷」と称され、東は北浦に面し、西は霞ヶ浦と北利根川、南は外浪逆浦と水辺に囲まれ、古くから水運の要所として栄えた町である。今回の震災により発生した液状化の被害は、この水辺を中心に発生し、道路や上下水道、ガス、電気等にライフラインなどの都市基盤は甚大な被害を受け市民の生活や経済活動に深刻な影響を及ぼした。宅地等の被害も甚大で、市内全域の建物被害 6,333 棟のうち、半数を超える 3,745 棟に液状化被害が確認されている。						
関連する災害復旧事業の概要						
潮来市の災害復旧事業		道路災害復旧事業	約 44.7 km (214 路線)			
		下水道災害復旧事業	約 29.6 km			
		水道災害復旧事業	約 25.4 km			
		その他災害復旧事業	小学校、中学校、公民館等			

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-19-2
事業名	潮来市液状化対策事業計画案作成 (D-19-2)
交付団体	潮来市
基幹事業との関連性	
「液状化ハザードマップ」は、基幹事業で得た液状化被害発生可能性に関する情報を提供し、地権者等による戸建住宅の液状化対策を促進することにより、液状化被害を受けた地元住民の復興に資する。	